



開校準備委員会だより

第2号

～ みんなで新しい学校をつくろう！ ～

これまでの経過
【町公式 HP】

[9/15]第2回開校準備委員会の開催について

■新たに女性2名の方が委員へ加わりました！

9月15日（金）に月形町役場大会議室において、第2回開校準備委員会を開催しました。今回、新たにPTA代表として女性2名の方に委員へ加わっていただき、全体で14名体制として、より多様な視点から協議を進めていきます。

■協議した内容

- ・ 幹事会・部会の運営体制等について
- ・ 義務教育学校の基本設計業務について
- ・ 義務教育学校（安平町早来学園）の視察について

幹事会と3つの専門部会（教育課程編成部会、施設備品部会、PTA部会）の構成員が決定し、これで開校準備委員会における組織全体の体制が整いました。

本年度につきましては、義務教育学校の建設に係る基本設計を行う年度となっています。これから準備委員会委員でワークショップ形式による意見交換を複数回行っていく予定です。今回は、設計事業者より5月に実施した基本設計の公募型プロポーザルにおける提案内容を説明していただきました。いろいろな視点から提案に対する様々な意見や要望などが出され、時には相反する意見も出ることと思いますが、建設的な話し合いにより、みんなでより良い方向性を見出していきたいと考えています。

その他、9月下旬に計画している義務教育学校の先進地であります安平町早来学園の視察について、行程や早来学園の概要などについて事前に確認を行いました。



[9/28]安平町早来学園の視察について

9月28日（木）に本年4月に開校した安平町早来学園を、関係者なども含めて全25名で視察させていただきました。早来学園の児童生徒数は310人程で、本町の倍以上の児童生徒数となります。平成30年の北海道胆振東部地震を契機に学校再建と建設が進められ、現在は「日本一の公教育を目指すまち」として、様々な教育関係機関と連携しながら先進的な取組を行っており、多くの方々が視察に訪れています。

当然ながら、学校規模や取り巻く環境も異なるため、そのまま本町に当てはめるということはできませんが、本町の義務教育学校基本構想をベースに良いところを取り込んでいけるよう、委員の方々の様々な視点において新しい気づきを与えていただいたものと考えています。今回受入いただきました早来学園様、安平町教育委員会教育次長様、関係者の皆さま、大変ありがとうございました。



一般開放されている図書室



予約により利用できるキッチンスタジオ

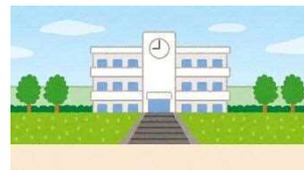
[10/30]第3回開校準備委員会及び第1回ワークショップの開催について

10月30日（月）に月形町役場大会議室において、第3回開校準備委員会を開催しました。

開校準備委員会では、新しい学校建設に係る「ワークショップの進め方」について協議した後、引き続き、第1回ワークショップを開催しました。

今回のワークショップの開催にあたりましては、多様な意見を反映させるため、町内在住・在勤・在学の高校生以上を対象に、公募による参加者募集を行っています。時節柄、年末にかけて各々お忙しく大切な時期の方もおられるということもあり、残念ながら応募がなかったため、開校準備委員会のメンバーを中心にワークショップ形式で進めさせていただくこととしました。

今回のワークショップのテーマについては、次のとおり二つです。



- ・ 議題1 設計事務所提案の学校平面に対する要望等について
- ・ 議題2 新しい学校と地域のつながり方について

ワークショップでは、各委員に3つのグループに分かれていただき、各グループのコーディネーターを設計事業者が行う形で進められました。先の二つのテーマについて、たくさんの付箋に意見を書き込んでいただき、それを模造紙に貼りながら分類して整理し、最後に各グループ代表より全員の前でまとめの発表を行っていただきました。

10月に実施しました児童生徒・保護者（小中学校・こども園）・教職員・開校準備委員会委員へのアンケート調査結果を事前に頭に入れながらワークショップに取り組んでいただいたこともあり、非常に質の高いグループ発表になったものと考えています。

今回のワークショップに係るグループ発表まとめの内容の一部を次のとおり掲載します。

※内容は要約しています。

課題1 設計事務所提案の学校平面に対する要望等	課題2 新しい学校と地域のつながり方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪計画をしっかり立てる必要がある。 ・ 教材園付近に水回りが必要。 ・ 特別な配慮を必要とする子どもの相談室や指導室が少ない。 ・ エレベーターの位置はどうか。 ・ 音楽室や理科室は一つで大丈夫か。 ・ 体育館にプロジェクターが必要。 ・ 給食センターと一緒に整備すべきではないか。 ・ 玄関にコート掛けがあった方がよい。 ・ 2階建てでよいのではないか。 ・ 駐車場の位置はどうか。 ・ 駐輪場は現在の場所がよいか。 ・ 玄関の位置はどうか。 ・ 監視カメラなどセキュリティや防犯対策はどうか。 ・ 自家発電装置を設置してほしい。 ・ エアコンは必須である。 ・ 体育館の広さはどうか。 ・ 吹き抜けの安全対策はどうか。 ・ 不登校などに対応できる部屋が必要。 ・ 女子トレイには生理用品を収納できる棚がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域開放計画をきちんと立てた方がよい。 ・ 図書室の地域開放は、町営図書館の移転計画によって変わる。 ・ 地域開放に係るセキュリティ面が気になる。ICTによる場合、高齢者への配慮は。 ・ セキュリティ対策に係る維持管理費用も考慮して検討すべき。 ・ 災害時を想定すると、体育館にトイレやシャワーは必要である。 ・ 家庭科室は1階にあった方が、交流が生まれやすいのではないか。 ・ 屋外遊具も開放してほしい。 ・ 地域に会館がないので、会議室を利用したい。 ・ 非常時を想定し、非常用電源に再生可能エネルギーを活用できないか。 ・ 習い事や公設塾を設置することはできないか。 ・ 子育て経験者が不登校の子供と話せるスペースがあるとよい。 ・ wifiが自由に使えるとよい。 ・ 限られた場所で飲食できるとよい。 ・ 地域開放しても、そこに行くまでの交通手段が問題。

【10月に実施しましたアンケート調査結果につきましては、ホームページで公開されています。】

今後も、子どもたちの健やかな成長を願いながら、より良い学校づくりに向けて検討を進めてまいります。